

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	平成29年度 第2回鴻巣市まちづくり市民会議		
開催日	平成29年8月29日(火)		
開催時間	午前9時30分開会・午前11時50分閉会		
開催場所	鴻巣市役所 本庁舎3階 302・303会議室		
議長(委員長・会長)氏名	会長 一瀬 隆一		
出席者(委員)氏名(出席者数)	一瀬隆一(会長) 松澤敏夫(副会長) 青木照男 神下光勝 日比暁美 船塚和雄 大森由恵 佐藤智之 佐藤百合子 安野悦男(10名)		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	なし		
事務局職員職氏名	総合政策課長 齋藤隆志 総合政策課副課長 谷広明 総合政策課主任 古川優介		
傍聴者	なし		
次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 前回の議事について 4 議事 (1) 対象施策及び重点基本事業の取組評価の報告 (2) 対象施策及び重点基本事業の課題・改善点の検証 Aグループ 6-1: コミュニティ活動の推進 Bグループ 2-1: 健康づくりの推進 5 その他 ・次回の審議会の予定等について 6 閉会		
会議の内容	<p>(決定事項など)</p> <p>「4 議事」について、Aグループ(会長進行)・Bグループ(副会長進行)に分かれ、それぞれ「第6次総合振興計画で定める施策概要」及び「成果向上に向けた取組提案シートにてまとめる施策・基本事業の取組評価」を事務局より説明後、審議。審議の結果、課題・改善点として以下の内容を整理。これらの課題を次回の審議でさらに掘り下げ、課題解決のための取組提案をまとめることとなった。</p> <p><b>【Aグループ 「6-1: コミュニティ活動の推進」】</b></p> <p>1) 高齢化社会の進展の中で、「持続可能なコミュニティ活動」を推進するためには「アクティブシニア」の参加が必要不可欠であり、現役のうちから地域参加の仕掛けづくりが必要であろう。特に男性の地域参加が弱い面がある。</p> <p>≪課題・改善点≫</p> <p>●「アクティブシニア」の地域デビューの方策</p>		

2) 自治会加入率向上に対する問題点としては、主に「自治会活動へのイメージや役割に対する、役員の負担・不安面」が挙げられる。

特に、「若い世代」「新興住宅地域」「持ち家・借家」の状況によってバラつきが多い実態を確認する中で、世代間がお互いの立場を尊重しあうフォローアップの視点に着眼し、「役割分担を明確にした事例・仕掛け作り」が必要と考えられる。

《課題・改善点》

●各世代間が担うべき自治会活動の姿とそのための役割

一例) 役員：60歳代のアクティブシニア  
イベント活動：30歳代の若者世代

3) 自治会の加入促進活動において、お互いの顔も知らない地域住民主体で行うのは限界があるとの意見がある一方、「人間性・責任感」を持ったリーダー役の存在が重要との意見が挙げられる。

その中で、「人を育み、地域でフォローする」為には、過去の地域に存在していた「地域で声掛けできるまち」や「小さな親切心が根付くまち」を育むことが重要であるとの共通認識が交わされる。

《課題・改善点》

●主体的・自発的行動を誘導できる仕掛けづくり

一例) 北鴻巣駅西口エリアマネジメント活動、清掃活動の表彰など「お金ではなく名誉」を。

4) 地域間の加入率や活動率のバラつきには、それぞれの地域が抱える課題を明確化し適切に対応する必要がある。

自治会で解決出来ない課題は自治会連合会で広域的にカバーすることや、NPOや老人会など地域外の方も含めて補完し合える組織体との協力体制を構築することが重要である。

《課題・改善点》

●単位自治会を補完する、他の組織との協力の手法

一例) 単位自治会での活動マニュアルなどの共有化（課題と解決の共有化）  
生涯学習活動中心の文化的事業の、地域参画化  
自治会集会所の共同利用による費用負担軽減 など

5) 地域活動も、新しいことをチャレンジしたくとも財源不足が課題として挙げられており、裁判事例では敗訴であるものの、自治会費の強制徴収等の仕組みも有益では無いか、との意見も交わされる。

一方で、民間資本の地域貢献活動やスポンサー制度等の事例も挙げられる中で、地域活動への民間資本の導入方策は、今後重要と考えられる。

《課題・改善点》

●民間資本の導入方策

## 【Bグループ 「2-1：健康づくりの推進」】

1) 健康教育事業において、講座への参加人数を成果指標としているが、参加層には偏りがあるため結果的に「延べ人数」を判断してはいないか。幅広い世代、これまで参加したことのない人へどう促していくのかが重要である。

《課題・改善点》

●健康教育事業における講座への参加者は一部の人であり、興味のない人に参加してもらうことが必要である中での、その方策。

2) 市の主催する健康診査の受診者数（国民健康保険の方）のみではなく、勤務先の健康診査を受けている方（社会保険加入者）や個別に検診を受診している方についても受診状況を把握すべきである。併せて、2次検診の受診率が低水準であることについての原因追究が必要。

《課題・改善点》

●健康診査やがん検診等の受診者数をどのようにしたら増やすことができるか。

3) 健康意識向上を目的とした事業（前出の講座や健康診査等）の活用については各個人の健康意識によるところが大きい。若い世代は自身の健康を過信する傾向があるため、積極的な意識付けが必要。

《課題・改善点》

●壮年期死亡の減少、成人病予防など若いうちからの取組が必要。  
健康に対する意識をどのように醸成するか。

4) 市内の夜間救急医療体制が不十分と感じている。入院時の病床不足や分娩可能な病院が減少してきており、住民は地域内で安心して受診できる環境を求めている。そのためには、かかりつけ医やかかりつけ薬局／薬剤師をもつことが重要であるが、日常的に医療機関を受診しない若い世代へも浸透する周知方法を検討する必要がある。

《課題・改善点》

●かかりつけ医、かかりつけ薬局をもつ市民をどのように増やすか。

5) 若年層のみならず、壮年期の自殺が増えている。身体と心は相互に関連しているため、身体と心の健康と位置づけ、市民が健やかな生活を送れるよう支援が必要。

《課題・改善点》

●多様化・複雑化する社会の中で、ストレスや悩みを抱えている市民が誰かに相談できるような環境の整備が必要であり、その方策。

その他、次回審議時以下の3点を示すことを確認。

1. 健康寿命の算出方法
2. 65歳以上かつ要介護2の方の人数（施設入所者、在宅別）
3. 65歳以上のひとり暮らし世帯数

## 5 その他

- ・ 次回を9月25日（月）、9時半より行うことを確認。
- ・ 通知と合わせ、取組提案シートの「課題・問題欄」を埋めたものを、1週間前後で送付する旨、伝える。

配布資料

- ・ 平成29年度 第2回鴻巣市まちづくり市民会議次第
- ・ 第1回会議議事録（簡易版）
- ・ 平成29年度まちづくり市民アンケート集計結果
- ・ 施策6-1 コミュニティ活動の推進 成果向上に向けた取組提案シート
- ・ 施策2-1 健康づくりの推進 成果向上に向けた取組提案シート